

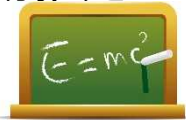
交通ネットワーク途絶に対する脆弱性低減のための計画論の策定

プロジェクトリーダー 工学部准教授 嶋本 寛

わが国における多くのインフラが老朽化しており、今後はインフラの更新にあたり長期間に渡る通行止め(リンク途絶)が生じる可能性があります。本研究プロジェクトでは、交通計画、地域計画、情報・通信工学の連携を図りながら、リンク途絶時における交通状態のモニタリングシステムを構築し、それをもとに交通脆弱性を軽減するための計画および情報提供手法を構築します。さらに構築する手法論を宮崎都市圏に適用し、宮崎地域における脆弱性抑制策の具体的な検討を図ることを目的としています。

リンク途絶による利用者行動の把握

- ・ 利用者行動推定モデルの開発



- ・ 利用者行動調査



将来におけるリンク途絶発生パターンの検証

- ・ インフラ老朽化調査



脆弱性低減方策の提言

- ・ 情報提供システム



- ・ 地域への実践

